

東海大学付属望星高等学校

同窓会会報

第29号



自信・希望

校長 細野久一

東海大学付属望星高等学校校長に就任し、一年目が終わろうとしています。

時は戻りもせず、とどまりもせず、ただひたすらに流れ過ぎていきます。

清少納言は『枕草子』の中で、「た

だ過ぎに過ぐる物」として「帆かけたる舟。人のよはひ（齢）。春、夏、秋、冬」を並べています。来ては去

る季節の足取りを、年々速く感じる

のは私だけでしょうか。止めること

も蓄えておくこともできない一日一

十四時間という時間、使うことしか

できない時間を大切にし、有効に使

いたいものです。「自信」は、「自己信頼」の略語です。広辞苑には、はじめに「自分の能力や価値を確信すること」とあり、次に「自分の正しさ

を信じて疑わない心」とあります。

自信という言葉には、自分の能力や価値を確信していることで、自分の

行為や考え方の正しさを信じて疑わない、という発展的な意味もあることがわかります。

「希望」は、文字のとおり「願い望む」ことです。あることを成就させようと願い望むことです。

「自信」と「希望」は別々の言葉でありながら、非常に関連の深いものです。人は、自信を失つてしまつたとき、希望も消えてしまっていることに気づきます。その方で、希望を失わないかぎり、何とかしてやつてみよう、努力してみようという気持ちがわき、そこから少しすずつ自信が生まれることも知っています。

人間は、無限の能力をもつて生きる自信をもつて、希望をもつて生きるということはとても大事なことなのです。

元気に活躍されている同窓会会員人ひとりの姿が、付属望星高校に活力を与えてくれます。会の充実・発展とともに、力強い母校への応援をよろしくお願いします。

能力をいかにして引き出すか、その起爆剤となるのが「自信」であり「希望」であるといえます。私は、機会あるごとに、生徒に次のように語りかけています。

自分で“自分が好き”になることはとても大切なことです。

この世にたった一人しかいない自分です。理屈ではなく、丸ごと、素直に自分で自分を好きになつてください。自分が好きであることで、自分を信頼することができます。人を愛することも、「生・命」を大切にすることもできます。自分を愛し信じることで、“良くなるうとする自分”を見失うことなく、自分でもやればできるのだという「自信」につなげることができます。「希望」を持ち続け、自分のペースに合わせて一步歩前進することができます。

孫

会長 下倉良次



スタートは留守電からだつた。

「モシモシ、ハヤタデス。ニジュウヒチニチニ、ナガノニイキマス。オジサンモイッショニイキマセンカ」

電話の主は五歳になる甥の子供、つまり実兄の孫である。ハーケンと呼んでいる。後ろにいる母親の言つとおりに言つてゐるのがわかる。甥夫妻の方針で僕は叔父さん、甥の兄弟ハーケンの叔父さんは名前で読んでいる。ハーケンにとつて僕は「千葉のオジサン」でことになる。このところ年末年始は帰郷していかつたが、この電話に誘われて行く事にした。

年末の二十七日、前夜の雷に眠れぬ夜を過ごしたが出迎えに東京駅に着いた。前夜の雷は台風並みの低気圧で東北地方は強風のため新幹線はストップ、軒並み時間以上遅れている。乗り継ぐ新宿発の「あざさ」には間に合わないので、時間をずらして予約をして東京駅に戻った。暫くして列車が到着した。「オジサーン」と叫んでハーケンがやって来た。「この姿を見たら親父は如けるだろうな」と甥がつぶやいた。長い日であつたが無事実家に到着した。

ハーケンの朝は早い。六時半には起きる。別棟で寝ているが八時にはやつてくる。「オハヨウ」の挨拶もそそここに「電車つくつて！」とくる。「今日はどんな作戦にする?」といふ。つまりどのようない設定をするのか、と言うことなのだ。二畳ほどのスペースに限られた数の線路を組合わせるのも難しい。しかも一台の列車を走らせるのでお互いが衝突しないようにしなければならない。結構頭の体操になる。昨年の夏は列車が走つていれば機嫌だつたが、今回は少し様子が違う。「怪獣が暴れてる!」と言つては線路を壊した。

年が改まるとき「電車つくつて」と言はなくなつた。「かるた」やろうと変わつた。聞けば、やつと「ひらがな」が読めるようになつたと言う。「僕が読むから皆んな早く並べて」やがてハーケンが読み始めるが濁音、半濁音、小文字の区別がまだ分らないまま読むので意味がわからない。しかも「頭」の文字を抜いて読むからなおさら分らない。「平和の使者ウルトラマン」が「いわのしやうるとらまん」そして最後に「へ」と言うことになる。

だからハーケンが読んでいる間お互いに想像することになる。五歳の子に皆んなが振り回されていた。

週間の滞在中に一回父親にこつびとく叱られた。つは食事中に食べるのに飽きて箸

でおかずを突付いて遊び始めた時、もうつはまだ体調が回復していないお爺さんに体当たりをした時である。「箸を玩具にしては駄目でしょう、皆んなが食べるものを突付いた

ら食べられなくなるでしょう」「お爺さんはまだ身体が痛い痛いなんだよ。体当たりしたらもつと痛いんだよ、すぐに謝りなさい」暫くは理解できなかつたみたいだつたが、やつと「ゴメンナサイ」と謝つた。

週間が過ぎて帰ることになった。帰りの車中で僕がトイレに行く、と言うと「ぼくもいく」と着いてきた。男子用のトイレは便器が高すぎてとどかない。抱いてさせようとしたが「ウンチ」もすると「ぼくもトイレを使うことにした。今は使用中でもう

人女性が待つてた。「空くまで待つんだよ」と言つて外の景色を眺めていた。「空いたよ」とハーケンが言つたが「まだ待つて人がいるでしょ、ハーケンはその後」と言うと素直に「ウン」と答えたのでほつとした。「ぼくがさきにしたい」と駄々をこねられたら如何しようかと思つていたのだ。

東京駅で新幹線の発車を待つ間、僕の周りをぐるぐる廻つてゐる。「ぼくも何んとうをかいたい」お店に行こう、と言う。既に弁当は買つてあるのに・・・。お店に行つたが弁当を欲しいわけではなかつた。おもちやが欲しかつたのだ。売店には弁当しかなく発車時間が近いので「お家に帰つてから買ってあげる」とママに諭されて、しぶしぶ列車に乗つた。昨夏とは回り大きくなつた、この次会う時はもつと大きくなつてゐるだろう。三年後は、十年後は

記

、日時 十九年五月一十七日(日)

午後 時より総会

午後二時より懇親会

一、場所 東海大学付属望星高等学校

総会 望星高校二階教室

懇親会 東海大学4号館

二階学食談話室

三、会費

今年度卒業生 一千円

ご夫婦での参加 五千円

四、その他 ピングゲーム

※賞品多数 ゲット確実

第四十四回 同窓会の御案内

五月の風はペーミントのかほり澄切つた青空へと広がつていく。

さあ、気分爽やか今年も代々木の台にそびえ立つ我が母校へ大集合!

この日は一日、望星高校生。

多くの先生と仲間達との出会い。楽しいひとときを過ごしましよう。

さあ、想い出いっぱいパックにつめて、持ち帰りましょう!

尚、ご出席できない方もハガキにて近況をお知らせ下さい。

記

です。

内木コ一ナ一

三十八年前の録音テープ

名譽校長
内木文英
(ないきふみえ)



月半ば（1907年）のある朝、望星高校の録音を担当されている田中晶（たなかあきら）さんから、一枚のCDが届けられた。大型の封筒には「突然の来訪者」と題名のついた文章がついていて、それを読むと、その時の田中さんの驚きが伝わってくる。

「新年の業務が開始された月九日、東京代々木の東海大学付属望星高等学校に、かなり高齢の紳士が訪れました」とあります。

その文章はこう書き始められている。高木さんというその紳士の持ち込んだものは、昭和四十四年三月二十三日に行われた望星高校第八回の卒業式を扱ったFM東海（東海大学超短波放送実用化試験局）の放送で、古い録音機で録音したものだ。現在の録音機では再生する事が出来ない。亡くなられた奥さんが大事に保管されていたものだが、その内容が聞きたくて、自分の住んでいる神戸のNHKに持ち込んだが断られ、その一言に書かれている「FM東海」（望星高校）の文字をたよりに夜行バスに乗って東京渋谷にやってきたといつ。

私はその「くなられた奥さん」という方が、高木しづゑさんだとすぐわかった。そのまま式に、彼女は卒業生を代表して答辞を読んでいる。

昭和四十四年はたいへんな時であった。その前年の昭和四十三年一月、時の郵政大臣小林武治が、閣議後の記者会見で、「FM東海の再免許は許されない」（その放送を利用しても教育を行っている生徒たちはNHK学園に転校させる）といつ暴言を吐いたのだ。

朝日新聞をはじめ、各新聞、雑誌、週刊誌などが、学校の立場をよく理解して、望星高校の「味方」になつて記事を書いてくれた。朝日新聞の「人」の欄に私も載つた。「FM東海の通信高校存続運動を続ける内木文英」というタイトルがつけられている。

学校が国を相手に、学校の存続を賭けて戦うことになる。こんなことがかつてこの世にあつたところか。裁判に持ち込まれ（行政訴訟）、八月に「勝訴」の決定が出る。国に勝つことができたのだ。そして政治的な交渉が続けられ、放送は現在のFM東京に受け継がれ、望星高校の存続が決定した。

FM東海としては、放送を利用して教育を続けた通信制高校の卒業式を扱つことで、困難な状況の中で勉学を続ける生徒たちの実態ができたのだ。そして政治的な交渉が続けられ、放送は現在のFM東京に受け継がれ、望星高校の存続が決定した。

新年の業務が開始された月九日、東京代々木の東海大学付属望星高等学校に、かなり高齢の紳士が訪れました。対応に出た望星高校教員とともに、地下階スタジオに降りてきた方は、八十歳を超えると思われる白髪の老人で、高木さんという方でした。髪白髪の老人で、高木さんという方でした。

「ある物」を本校に持ち込む目的のために、はるばる神戸から夜行バスに乗り、東京に出向いたそうです。

「ある物」とは古いオープンリールテープで、亡くなられた妻の遺品として大切に保管されていたテープであるとのことです。

約十分にわたり貴重な式辞をお話しになつています。

亡くなられた奥様は高木しづゑさんで、卒業生として答辞を話され、東海大学付属望星高等学校への入学の経緯や、苦学して卒業証書を勝ち取つたこと、卒業の喜びを述べるとともに、当時の時代背景やFM東海裁判にかかる貴重な話が収録されていました。ちなみに、この卒業式が行われたのは昭和四十四年三月二十三日で、FM東海裁判に勝訴（昭和四十三年八月）した翌年の卒業式であります。

この卒業式から四十年近くの年月が流れ、本校の通信教育講座は、FM東海からFM東



突然の来訪者

放送技術 技師補

神戸のNHKに持ち込み、再生（カセットコピー）を依頼したところ、断られ、録音明細表に記載（FM東海／望星）をたよりに本校を尋ねてこられました。

大変古い時代（昭和四十四年・九六九年）のオープンリールテープで、テープ速度も現在の放送規格とは異なつてゐるものでしたのが、しかるべき処理を施し、ほとんど正常に再生する事が出来ました。

録音内容から推測すると、当時のFM東海の番組として、第六回・昭和四十三年度東海大学付属望星高等学校卒業式の模様を特別編成で放送したものであると考えられます。

内木文英教頭（東海大学理事、望星高校名誉校長）による開式の辞に始まり、建学の歌斉唱や卒業生コメント等がアナウンサーによつて紹介されています。

総長式辞は故松前重義東海大学前総長で、約十分にわたり貴重な式辞をお話しになつています。

亡くなられた奥様は高木しづゑさんで、卒業生として答辞を話され、東海大学付属望星高等学校への入学の経緯や、苦学して卒業証書を勝ち取つたこと、卒業の喜びを述べるとともに、当時の時代背景やFM東海裁判にかかる貴重な話が収録されていました。ちなみに、この卒業式が行われたのは昭和四十四年三月二十三日で、FM東海裁判に勝訴（昭和四十三年八月）した翌年の卒業式であります。

京（TFM）へと引き継がれました。現在はFM東京系C-P-C M局ミュージックバードにより、衛星ラジオで行われています。

松前重義前総長による「富士山の頂上にアンテナを建てる」という壮大な構想は、技術の進歩により、その一〇〇倍もの高さである赤道上三六〇〇〇Kmの静止通信衛星」—SAT2Aのアンテナから、デジタル技術を駆使した超高音質の放送で行われています。

現在の東海大学付属望星高等学校は、少子化による生徒減や通信制高校間の競争、入学生徒の変化（勤労学生→不登校、教育不適合生徒）などの問題も多く、大変きびしい運営環境であるといえます。放送を利用した教育についても、インターネットの活用や、映像（静止画像を含めたEラーニング）が検討されています。

おりしも東海大学や、東海大学付属望星高等学校の将来ビジョンを協議している時期に、このテーブが届けられたことは、単なる偶然とは思えない縁や、亡き創立者からのメッセージがこめられているのかもしれません。

近い将来、ラジオというカタゴリーは、本校の教育手段やコンテンツとは切り離した形になると考えられます。その場合においても、社会教育や大学広報活動の環として、FM東海時代の「FM教養大学」や、FM東京で放送されていた「放送現代文明論」明日に生きる」等の教養番組を再登場させ、東海大学の理念や思想がFMラジオというメディアで継承していくことを願つてやみません。

文化祭見学記

一期

清水庄司



「みんなにやさしい望星広場」を統一の基、平日コースと放送コースとの合同の文化（望星）祭が、十月二十九日に開催されました。



色セツトを食したら、小腹が満たされて、他のタバモノを食す気にならなくなり、スープを口にしたのみです。

剣道部は、ホットドッグの模擬店を出店して、完売したら翌日の稽古は休みにすると発破を掛けられて、張り切って売り込んでいた、完売おめでとう。

最近の事件を題材にしたと思われる、演劇部の創作劇「十七歳の方程式」は、事件を起こした、非行少女と付添い人（弁護士）との、家裁での少年審判前の事前打ち合わせで、少女に不利益となる、非行原因を消去法にて、取り除いて、残った有利な非行原因を基に、検察官への逆送致を避け、保護観察処分に導こうと云う打ち合わせの際の少女のウソに依り、「少年院での保護観察処分」の審判決定後に少女のウソが露見ると云う筋書き。

ヶ月の稽古で、好く纏め上げたものと感じました。

模擬店の食器は、多分レンタル品と思われますが、デボジット制を採用して、回収しきミを出さない文字どおりの「やさしい広場」でした。

かつて望星の生徒の殆どは社会人で、自営業の方も多数居られました。その方が、模擬店を担当されたので、模擬店と云うよりもデパ地下の趣がありました。

同窓会も、何らかの模擬店を出店したら、喫茶店を出店されて居ました。

平日コースの後援会（保護者会）は、バザーで地下の趣がありました。





旅

七期 長南友行

第三十一回連合同窓が六月十六日から三日間、第五高校の当番校として開催された。初日はゴルフと観光に分かれ、同夜から同行動となる。いつもなら私はゴルフ組に入るのだが、今回の福岡、佐賀、長崎と玄界灘にそつて巡るコースに、時代本や映像でしか知らない所が組み込んであったので迷わず観光組に入れて頂いた。

福岡空港を出発、車内では早速買求めたビールを片手に、仲間との再会の歓喜がうずまいていた。呼子港で昼食、有名なイカの刺身、ゲソは唐揚げ、この日は早朝からの移動だったので特においしく頂いた。

名古屋ではなく名護屋城趾。その頃の通勤の途中に読む時代小説で、豊臣秀吉が国内では飽きたらず、朝鮮半島まで制覇しようと派兵のための前線基地 城跡である。朝鮮半島に近く、軍船などを係留するのに良い港があるという。城壁にあがり本に書かれてあつた、武将の陣所の配置が確認できた。

今夜の宿は平戸。イエズス会宣教師フランシスコ サビエルが鹿児島に統いて上陸し、キリスト教の布教活動を始めた地である。いくつかの教会やオランダ坂、商館跡が多く、ひつそりと穏やかな町である。ここでゴルフ組と合流夜遅くまで座が賑わった。

翌る日、西海パールシー、遊覧船での九十

九島めぐり。東北の景勝地松島湾を少し凝縮したような感のする群島である。パンフレットを見て思わず目を見張る。長南島とある。こんな所にご先祖様が残していく財産があったのか、と思った瞬間アナウンスがあれはナガハ工島といいます。・ ハウス

内へ、平和公園にある祈念像、被爆〇年後の九五五年完成した。右手は被爆の脅威、左手は平和、伏した目は犠牲者の冥福を祈る姿であるという。定かではないが若き頃の力道山をモデルにして制作したとも言われている。

夕方からの会長会議、総会、懇親会と予定通り終了。その間ずっと長崎は雨に煙つて外は見えなかつたが、一次開場を移したとたん雨が止み、日頃から行ないの良い我々を迎える 〇〇万ドル夜景とはまさにこの事であろう。皆、眼下にした夜景と歌と酒に酔い始めていた。

最終日、八六四年建立の大浦天主堂、隣接するグラバー園などを見学、異国情緒たっぷりの長崎を充分味わつた。この一日間の旅で、時代小説で空想していた名護屋城趾も現実のものとしたり、テレビなどでしか知らなかつた平和祈念像や大浦天主堂、グラバーホー、出島や夜景などこの目で確かめることができ、感激の旅であった。

八月ごろであったか、大きな台風で長崎の造船所のクレーンが折れてしま



同窓会総会・懇親会報告

事務局長 金 谷 義 孝

爽やかな風薫る五月、われらが母校にて、第四回同窓会総会 懇親会が開かれた。

総会は、学校に行くたびに、奇麗に衣替えする望星高校二階教室にて、五名程の会員が出席して行われた。総会は六期の漆谷副会長の開会宣言にて開催された。議長に一八期の遠藤源氏が選出され、五期の下倉会長の挨拶並びに活動報告は近況と連合同窓会の事を含めて話された。式次第にのつとり、七期の会計長南氏による決算報告がなされ、監査報告は監査役で二期の清水氏、二七期の針替氏が報告されたが、質問も無く、全会一致の拍手にて会計監査が承認された。続いて今年度の活動予定及び予算案を 四期の事務局長金谷から報告され、又、今年度の執行部役員も別紙のごとく全会一致の拍手にて承認された。



他の議案も問題なく承認され、最後のしめは二九期の寺林副会長の閉会宣言にて今年度総会は幕を閉じた。今回の総会は恭の株主総会



今回は、退職された村田元校長先生を始め池淵 小松 金子 田中 鈴木の各先生、又多くの先生から近況やご挨拶を頂いた。続いて在校生を始め、一期生から今年の卒業生まで近況や紹介があった。古い期の先輩たちの頭の白さに、月日を感じさせられた。



卒業生の皆様、学校と同窓会はいつでも皆さんがみえられるのをお待ちしております。又、懐かしい先生にも毎回、案内状は出しておりますので次回は、是非、担任の先生 級友をお誘いの上ご参加下さい。



会もどきでスムースに短時間に終えた。又、今年度も統投された下倉会長は年齢もさることながら、長く会長職を続けたのでこの辺で区切りしたいと、早くから辞意を表明され

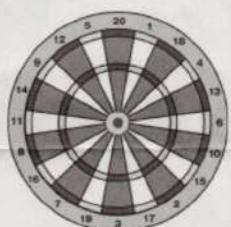
ていたが、全役員の慰留にて今年度限りでと引き受けた。ただ、今の役員会は下倉会長の求心力があればこそ集まっているのでまだまだ続けて頂きたいと思うのは私だけではないと思う。

懇親会には、参加者も八十名ほどになり、大学校会談室に於いて、九期の原澤副会長の名司会にて開会された。

下倉会長の挨拶始め、細野久 校長先生からは同窓会に熱いエールを頂き、役員も心強く感じた事であろう。内木先生は変わりない名調子でスピーチされ、「よー内木先生」等と会場からは掛け声が聞こえるようであった。

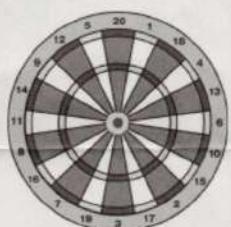
今年もゲームは、昨年に続きダーツによる豪華賞品の争奪戦になつた。中には会費より高い景品を持ち帰る会員も多くいた。ちなみに私の景品はアルコールチエッカーと最も欲しかったもので、思わずガツツボリズがでた。

最後は恒例の校歌齊唱だが、毎度の事ながら、ジーンと心が熱くなる。この時は、昔は奥村先生がリードを取り大声で歌っていた事がなぜか思い出された。私事では有るが、卒業して三五年も過ぎたのにまだ歌詞を覚えていた。



今年もゲームは、昨年に続きダーツによる豪華賞品の争奪戦になつた。中には会費より高い景品を持ち帰る会員も多くいた。ちなみに私の景品はアルコールチエッカーと最も欲しかったもので、思わずガツツボリズがでた。

最後は恒例の校歌齊唱だが、毎度の事ながら、ジーンと心が熱くなる。この時は、昔は奥村先生がリードを取り大声で歌っていた事がなぜか思い出された。私事では有るが、卒業して三五年も過ぎたのにまだ歌詞を覚えていた。





連合同窓会に参加して

一期 清水庄司

福岡の五高同窓会を幹事校とした。連合同窓会の連の行事が、望星から八名参加して、六月十六～十八日にかけて開催されました。

私は、三年間自治会をお預かりしていた、その間日程の都合で、参加出来なかつたので、久し振りの参加となりました。

初日は、福岡空港を起点に平戸への観光コース、呼子の昼食では、透き通るような鳥賊刺に思わず舌鼓を打つた。

天下人となり、明を手中にとの太閤秀吉の野望のもと、朝鮮侵略の拠点として築城された。名護屋城、その出兵が秀吉の歿後、豊臣家滅亡の一因とは、栄枯盛衰は歴史の定めか。

ライトアップされた、平戸城を対岸に望む丘の中腹に宿泊、自由時間に、南蛮貿易時代の和蘭商館跡等の史跡巡り、翌早朝の平戸城の散策と往時を偲んだ。

一日目は、佐世保に近い、一〇〇以上の島々からなる、九十九島の絶景を海上から観光し、ハウステンボスを車中から望み、路長崎市内に向かう。

平和公園の平和祈念像のモデルは、往年のヒーロー力道山との話、風貌が似ている。

鎮国期、海外との唯一の窓口出島、復元された史跡「和蘭商館跡」面積 万五千平米は、思っていた依り狭いと感じた。往時の交易の状況では、充分な広さだったのだろう。

小高い丘に囲まれた。長崎の夜景は魅力的ですが、曲りくねった坂道、防災面から、長崎の方々には、申し訳御座いませんが、住む所では無いと感じました。

連合同窓会で、少子化に困る入学者の定員割れの、状況が報告された。

懇親会では、龍(じや)踊りの杖(龍足=龍は四足とされる)を支えて練り歩いた。



二日目の朝食時、胸に「しゅうがくりよう」背に「まごころ」とプリントされたTシャツ姿のシンガポールの小学生の集団に遭遇しました。娘の成っていない、ヤマザルの如き日本の小学生と異なり、整然としていて、こも違うのかと、感心させられた。

見晴らしの好い高台にある。グラバー園、ヒーロー力道山との話、風貌が似ている。何故か、邸の天井裏に隠し部屋があつた。

平安朝期、藤原一族に憎まれた、菅公様の赴任の地、太宰府に開設された。九州国立博物館の常設展示「海の道 アジアの道 文化交流展示室」で、旧石器時代から近世迄の交

流の歴史に接した。

今回の、平安朝 南蛮貿易 鎮国・開国各時代の海外との接点「歴史とロマンの旅」を企画した。五高同窓会のご尽力に感謝して、連合同窓会の行事を終える事が出来ました。

本年の連合同窓会は、内木名譽校長のご尊父様の名教学園と東海大学の合併で、昭和三十年に付属高として発足して浦安高となつた。浦安高の同窓会の五十周年記念行事として、開催される事になりました。同高は、昭和三四年に、付属高の通信教育部として、発足した。望星の母親とも言うべき高校です。



望星便り

前回の第二十八号と同じように、先生方の話から始めます。今年度も望星高校に新しい風を運んでくれた先生から紹介します。最初に、東京校から始めます。田島芳勝先生(保健体育)が第二高校かもめ幼稚園、中條依久雄先生(保健体育)が望星学塾から、望洋高校からは、古江昭先生(数学)、仰星高校から池田信(国語)先生、北田邦夫先生が高輪台から、相模高校からは、高橋栄先生(保健体育)・佐藤みどり先生(養護)がそれぞれ着任されました。さらに、大嶋輝也先生(保健体育)・石綿泰之先生(国語)・武内美月先生が(家庭)武政晃政(理科)着任されました。そして、事務職員として中道健一さんが着任されました。静岡校には、桜田栄(情報)が翔洋高校から異動されてきました。熊本校には、二人の先生が着任しました。人は、浜崎喜寿先生(英語)です。先生は長年第二校で教鞭をとされていた先生です。そして、松本生先生(理科)です。先生は、以前東京校で教えられていて、それから第五高校に異動されてこのたび熊本校に来られました。福岡校にも、岩本久明先生(保健体育)が第五高校から異動されきました。北海道校には、高橋直子先生(国語)が、着任されました。その方で、望星高校の教育のために献身的に尽くしてい

計 報	
<p>◎風間幸男殿(一期)</p>	
一〇〇六年二月二十五日	逝去されました。
一〇〇六年十月	ご冥福をお祈りします。
◎横山美都雄殿(三期)	

平成17年度 決算報告

東海大学付属望星高等学校同窓会

平成18年5月28日

取 入		支 出	
前期繰越金	5 397 407円	連合会関係費	2 450 000円
新会員入会金	1 479 000	生徒会関係費	90 000
新会員年会費	5 000 000	通信費	5 981 49
総会時年会費	3 200 000	会報費	3 950 000
総会時寄付金	3 000 000	会務局	84 138
局振込年会費	2 520 000	総会費	1 253 42
局振込寄付金	1 460 000	印刷費	3 053 50
利子・利息	1 36	交文通講費	83 440
銀行振込	3 000	会議費	3 27 82
立替金(ペイシング)	2 874 000	卒業記念品費	6 037 50
未収金		支部活動費	1 19, 000
		涉外費	1 075 23
		機器整備費	4 65 93
		雜費(返金)	0
		(小計)	2 836 067
		繰 越 金	5, 290, 876
合 計	8 126 943円	合 計	8 126 943円
次期(平成18年度)	繰越金 5 290 876円		

平成18年度 予算

取 入		支 出	
前期繰越金	5 290 876円	連合会関係費	2 700 000円
新会員入会金	1 650 000	生徒会関係費	90 000
新会員年会費	5 500 000	通信費	6 000 000
年会費	4 500 000	会報費	3 950 000
雑収入(利子等)	1 000	会務局	80 000
(今年度収入合計)	2 651 000	印刷費	1 000 000
		会議費	3 000 000
		会員品費	1 000 000
		記念品費	3 500 000
		活動費	6 000 000
		会員費	1 20, 000
		外備費	1 00 000
		機器費	5 000 000
		(返金)	
		(小計)	2 840 000
		繰 越 金	5 101 876
合 計	7 941 876円	合 計	7 941 876円

平成17年度総会・懇親会収支決算報告

平成17年6月5日 望星高校において

取 入	支 出
会費 1 240 000円	飲食費他 2 493 42円
△1 253 42円(総会費より負担)	

上記の決算、厳正なる監査の結果、相違無い事を認めます。

平成18年5月21日

監査役 清水 庄司(2期)、監査役 針替 幸子(27期)

平成18年度役員選出

会 長	下倉 良次(5期)
副 会 長	漆谷 憲康(6期) 原澤 純一(9期) 寺林 勝実(29期) 各支部同窓会支部長
書 記	田中 美帆(28期) 高橋 謙一(33期) 渡邊 成美(40期)
会 計	長南 友行(7期) 横 麻紀(34期)
事 務 局 長	金谷 義孝(14期)
事務局次長	須永 英典(38期)
カウンセラー	畠山 勝(16期)
広 報	時田 早絵(39期) 鈴木 広和(42期)
監査役	清水 庄司(2期) 針替 幸子(27期)

ただいた、白山俊介・興津玲子両先生(地歴公民)が退職されました。長い間、望星高校を支えていただきましてありがとうございました。また、森公法先生(数学)が高輪台、竹内真先生(保健体育)宮崎 美先生(理科)が望洋高校に異動されました。出向でデンマーク校に安尾裕子(養護)先生が行かれました。ご活躍をお祈りします。そして、研修で来られた浅沼謙多郎先生(保健体育)梅津厚子先生(養護)・三浦徹(英語)先生方が無事研修を終えられ、齊藤裕美子先生が研修を終えられました。

ただいた、白山俊介・興津玲子両先生(地歴公民)が退職されました。長い間、望星高校を支えていただきましてありがとうございました。また、森公法先生(数学)が高輪台、竹内真先生(保健体育)宮崎 美先生(理科)が望洋高校に異動されました。出向でデンマーク校に安尾裕子(養護)先生が行かれました。ご活躍をお祈りします。そして、研修で来られた浅沼謙多郎先生(保健体育)梅津厚子先生(養護)・三浦徹(英語)先生方が無事研修を終えられました。